藤沢市と連携し、
藤沢市内商業施設で初の認知症カフェ
「えのカフェ」を開催！

イトーヨーカドー

2017/10/12

セブン&アイHLDGS.
CSRアクション

８年後の2025年には高齢者の５人に１人が認知症になると言われています。藤沢市では、「認知症になっても安心して暮らせるまちふじさわ」として、9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて「おれんじキャンペーン」を実施。その中の１つとして、藤沢店の店内で認知症カフェである『えのカフェ』を開設しました。

認知症カフェとは、認知症の家族を支える者同士が介護の悩みを話したり、色々な気づきを得たりすることができるコミュニティです。

今回は第１回目でしたが、今後も継続して実施し、認知症の方を支える家族の方のよりどころとなる場を提供し、認知症になっても安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるお手伝いをしたいと思っています。

イトーヨーカドー藤沢店
管理統括マネジャー　川井　勝雄
シスター　平嶋　真澄

お客様のすぐに目につく店頭入口のスペースに「えのカフェ」開設！藤沢市内の商業施設への認知症カフェ開設はイトーヨーカドー藤沢店が初めて実施しました。

壁には、藤沢市の昔懐かしい写真を展示。親や祖父母が生きた時代は今とは全く違う風景でした。

16名のお客様が参加し、和気あいあいとした雰囲気でコミュニティが出来上がっていました。

関連情報

藤沢市では、9月の「世界アルツハイマー」月間に合わせ、さまざまなイベントを行っています。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

＜ おれんじキャンペーン ＞
http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/koreifu/2017ninntisyou.html